

沈砂池設置位置図

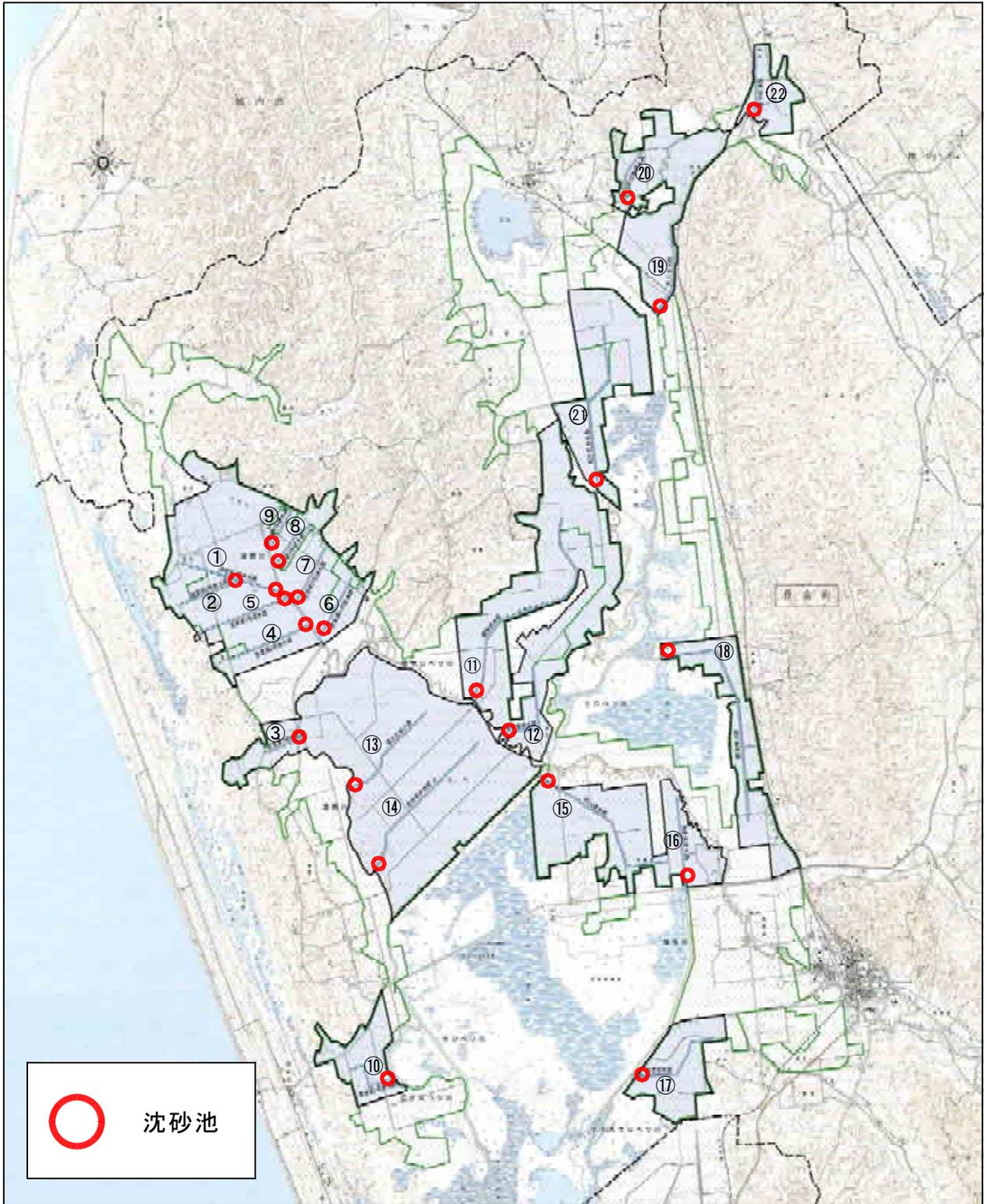


図7 沈砂池設置位置図

(3) 沈砂池の維持管理

① 維持管理体制

A. 農業生産基盤整備実施期間

事業の実施主体となる稚内開発建設部と豊富町及びサロベツ農事連絡会議が連携して実施する。

B. 農業生産基盤整備完了後

事業実施中の維持管理及びモニタリング結果を踏まえ、豊富町とサロベツ農事連絡会議が連携して実施する。

② 維持管理方法

沈砂池機能を維持するためのモニタリングを実施し、専門家の協力を得て、維持管理計画を作成し沈砂池に堆積した土砂を適切に除去する。

③ 堆積土砂の利用

堆積土砂は地域資源としての有効利用及び効率的循環の観点から農用地へ還元する。

(4) モニタリングによる検証

① モニタリング体制

農業生産基盤整備実施中については、稚内開発建設部と豊富町及びサロベツ農事連絡会議が沈砂池設置前後のモニタリングを行い、沈砂池機能の効果を検証し、沈砂池の維持管理方法を検討する。農業生産基盤整備完了後は、豊富町とサロベツ農事連絡会議が連携し実施可能なモニタリングを行う。

モニタリング項目（農業生産基盤整備実施期間中） 実施機関：稚内開発建設部、豊富町、サロベツ農事連絡会議

項目	細分	内容	観測頻度	用途
降水量	降水量	豊富アメダス観測結果の収集整理		流砂量、堆積量等と比較することにより流出土砂量の傾向を把握
堆積土砂	堆積土砂量	堆積土砂を算定	除去前の計測を基本として実施	沈砂池による土砂捕捉効果を把握
	粒度組成	試料採取による土質試験		発生源の把握
	土砂除去量	一次堆積場所での土砂量の計測	維持管理時を基本として実施	維持管理による土砂除去効果を把握
通過土砂	通過土砂量	沈砂池下流側でのSS調査と水位流量観測(代表箇所)	SS調査は平水時と出水時に実施。水位流量観測は農耕期間	沈砂池の堆積量と通過土砂流出量を調査し、沈砂池による土砂補足率の把握

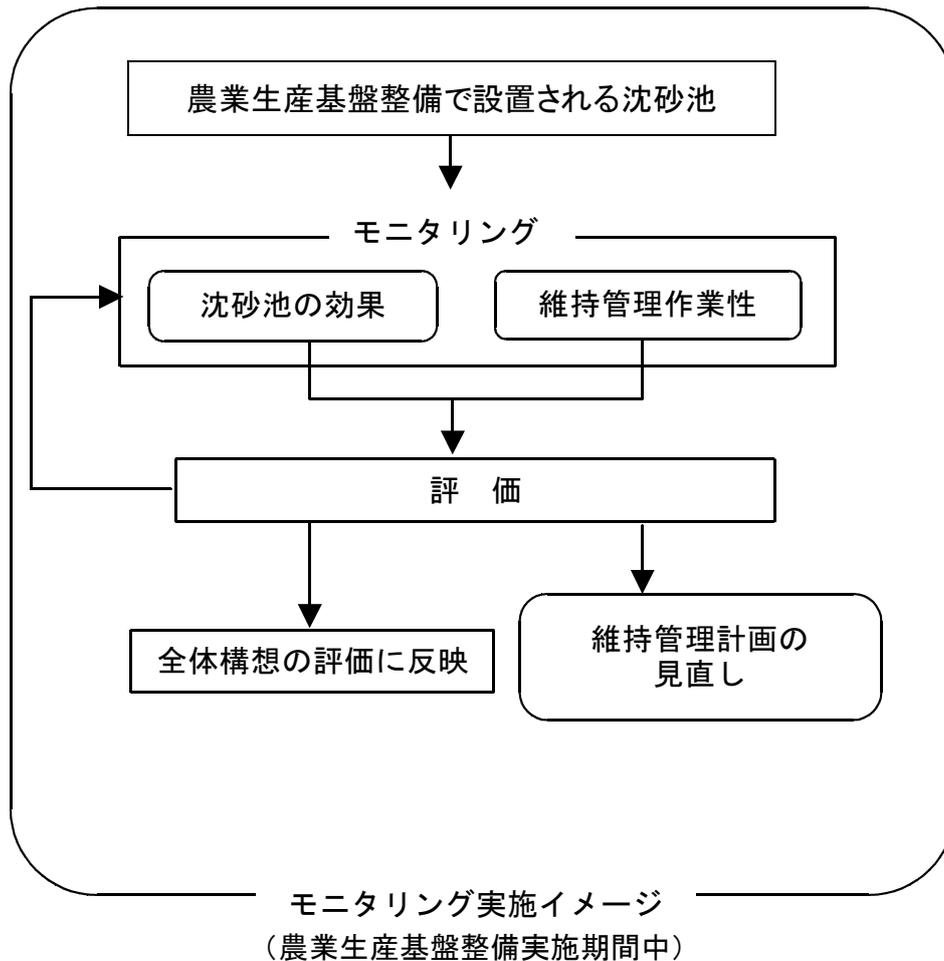
モニタリング項目（農業生産基盤整備完了後） 実施機関：豊富町、サロベツ農事連絡会議

項目	細分	内容	観測頻度	用途
堆積土砂	堆積土砂量	堆積土砂を算定	除去前の計測を基本として実施	沈砂池による土砂捕捉効果を把握
除去土砂	土砂除去量	一次堆積場所での土砂量の計測	維持管理時を基本として実施	維持管理による土砂除去効果を把握

（5）順応的管理手法の適用

事業前の期待されている効果を事業後のモニタリングにより適正に評価し、期待される効果が現れていない場合は、維持管理計画を柔軟に見直すことが重要である。

したがって、事業実施中、モニタリングにより不具合が生じた場合、状況に応じて維持管理計画の内容にフィードバックし、修正が可能となるような管理を含めた順応的な手法で実施する。



第5章 その他自然再生事業の実施に関して必要な事項

第1節 緩衝帯用地提供者等との協働

緩衝帯の維持管理にあたっては、継続的な維持管理が実施されるよう、より一層の連携を進める。

第2節 地域の多様な主体の参加と連携

緩衝帯は、設置後の維持管理・モニタリングを実施し、その結果を評価していくことが重要である。そのため豊富町、NPO等地域の多様な主体が参加連携し順応的な手法により緩衝帯をより効果的なものとしていくことが必要である。